

第 59 回 東葛しぜん観察会

谷津の自然に親しむ・岡発戸の自然豊かな谷津を歩こう

高野満里子（鎌ケ谷市）

日 時：2010 年 4 月 4 日（日）9：30～14：00 天候：曇り

場 所：我孫子市 谷津ミュージアム

参加者：一般 22 名 指導員 19 名 合計 31 名

担当指導員：鈴木とし子、大木陽子、高野満里子

成田線の東我孫子駅にて受付後、観察出発場所の谷津入口に移動。谷津ミュージアムで活動している染谷さんから谷津田についての説明と谷津ミュージアム及び谷津を守る会についての話をしてもらいました。谷津ミュージアムは斜面林・水田・湿地からなる岡発戸（おかほつと）・都部（いちぶ）の谷津で、約 40ha もの広大な面積をもっています。昔から湧水や斜面林の落ち葉などを活用した水田耕作が行われ、ホタルやアカガエルなどの生きものを育む場所であったとのこと。

観察会のスタート前に軽い体操をした後、班ごとに出発しました。サクラやコブシの花が美しく、足元にはセリバヒエンソウ・ウラシマソウなどの野草が咲き、気持ちのよい観察会でした。気温が 10～11℃位と低く、肌寒い一日となり、もう少しお天気がよければ更に楽しい観察会になったと思います。

観察ルートは、成田線に沿った南側斜面のハケの道を歩き、ポンプ小屋隣の池でニホンアカガエル・アズマヒキガエルのオタマジャクシやメダカの学校などを観察し、シュレーゲルアオガエルの鳴き声を聞き、ここが貴重な谷津であることを確認しました。池の先を少し行った脇から階段を登り、タチツボスミレの花を楽しみながら昔の柴刈りの場所であった雑木林の中を散策しました。古代米を栽培する不耕作の田んぼを見て、タヌキの足跡にびっくり。カントウタンボポを観察しながら、コンクリー



オタマジャクシを観察

トで護岸をされた水路とそれを昔の多自然型水路に戻した所を比較観察しながら歩きました。

作業小屋の所で昼食休憩をとり、午後は北側斜面の道（ゴルフ場側）を通り、谷津ミュージアムを一周する形で出発地点に戻ってきました。

<参加者の感想>

①植物の名前、湿地の良さを知ることができた。 ②目からうろこ、日頃疑問に思っている事を知る事ができた。 ③今日来て見て地元でこのような豊かな自然のある事を知ることができた。 など観察会に参加して良かった、という感想をいただきました。

<指導員のふりかえり>

- ①トイレの場所、途中で帰る経路など最初に伝えておくと良かった。
 - ②トイレに時間が掛かった為、高校のトイレも借りられると良かった。
 - ③参加者が植物の名前を知るだけでなく、ボランティアとして行動するきっかけをつくるような案内を工夫する必要がある。
 - ④参加者に植物採集する場ではない事をひと言伝えるべきであった。
- 等貴重な御意見をいただきました。

寒い一日でしたが、参加者、指導員共に怪我もなく無事終了する事ができ、これも指導員の方々のご協力の賜物と感謝いたしました。